

政策コメントーター報告(第5回)(意見照会期間:2015年10月22日～11月4日): 武輪 俊彦 武輪水産株式会社代表取締役社長

| 質問事項 | | 選択式回答 | 記述式回答 |
|-------------------|--|---------|---|
| 経済動向 | | 悪くなっている | 三陸沖の主要魚種の盛漁期は終盤になっていると思われるが、カツオ・サンマ・サバなど水揚量が低迷している。特にサバについては水揚げされる魚体が小さく、かなりの割合で非食用の魚粉の原料に向けられていて、食品向け加工原料も小型サイズ中心で大変高いものとなっているとともに、絶対量が非常に不足している。サバを扱っている水産加工場に於いては、不足している分を北欧からの輸入サバ或いは国内他地域からの移入原料、もしくは他の魚種に置き換えなければ稼動を維持できないなど、ここ数年になかった対応を迫られる厳しい状況となっている。また北欧産サバについては、中国加工品との価格競争で採算割れも危惧される。 |
| 1 | 2015年10月下旬から11月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年7月下旬から8月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのでご参照ください。 | | |
| 「経済・財政一体改革」に向けた取組 | | - | |
| 2 | 改革工程表・KPIに関する検討状況や上記の議論に関し、特に加速・強化すべき取組について、財政健全化や経済成長への貢献といった観点や、現場・地域の視点などに照らしてお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。 | | |